

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 1 2 期 だい 1 年 だい 4 回 だい 2 日
(第12期 第1年 第4回 第2日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2019 (平成31)年2月24日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 21人

アニー タ リシケシュ、アリ ファズラット シャローン、ウラコワ
マハバット、ウル エリック ファーレイ、大越 ミュートン トミオ、金
海花、児玉 ノンティシャー、ゴタメ アディカリ アニタ、蔣 香梅、
シロコラデユク イリヤ、スタント イルワン、崔 敬心、チョ チョ カイン、
トラン フオン ズオン、パテネフ アルチョム、ポール ウツザル クマル、
ボソ ロドリゲス ミゲル アンヘル、前田 喜与美、ラサル ジュリエン、
劉 愛玲、ロマンダ デイビッド

(2) 事務局

あさぬま たんとう かちょう いちのせ たんとう かちょう とよた たんとう かかりちょう えのもと しゅにん くさかべ
浅沼 担当課長、一ノ瀬 担当課長、豊田 担当係長、榎本 主任、日下部
しよくいん たかはし せんもんちやうさいん
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 3人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2018年度第4回第2日を開催する。今日は許委員、鈴木委員、寺田委員、ロペス委員が欠席だ。まず、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局豊田担当係長が説明)

スタント委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、実行委員会についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、来年度の実行委員会について決めたい。(順番に希望を確認)欠席者には、事務局から確認をお願いする。続いて、行事への参加についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、各イベントについて代表者会議として参加するかどうかを決める。賛成の人は手を挙げてください。かわさき市民祭り(19人)、インターナショナル・フェスティバルinカワサキ(20人)、多文化フェスタさいわい(19人)。各イベントとも参加することが決定した。続いて、2018年度の年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料4に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。」

ボソ委員「質問ではないが、自分の国籍が間違っている。」

シロコラデュク委員「名前が間違っている。イリヤではなく、イリヤだ。」

スタント委員長「ほかにあるか。(なし)では、事務局は修正をお願いする。ほかにあれば、28日までに事務局に連絡をお願いする。それでは、移動・休憩をはさんで部会審議だ。全体会の再開は、16時30分からとする。」

【情報・広報部会】

崔部会長「それでは部会を始めたい。まずは、前回会議のまとめを事務局からお願い

する。」

(事務局日下部職員が資料1に基づき説明)

崔部会長「何か質問はあるか。(なし)では、今日のテーマは、観光客向けの防災情報についてだ。まずは事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が5-1、5-2、5-3に基づき説明)

崔部会長「何か質問はあるか。」

アリ委員「ホテルなどの宿泊施設に情報をおくとよいのではないか。観光客と外国人市民をそれほど分けなくてもよいのではないか。」

崔部会長「外国人観光客に絞った提言にするのかということは考える必要がある。資料にいろいろと論点が整理してあるので、それを意識しながら審議して欲しい。」

ポール委員「災害時に携帯に送られてくるメールは、市が発信しているのか。」

事務局日下部職員「メールによる。具体的にどのようなメールか。」

ポール委員「この間の大雨のときにきたメールだが、妻にきたメールなので正確なところはわからない。妻は日本語がわからないので、市から発信するものがあれば、やさしい日本語や英語にして欲しい。」

ウル委員「ホテルのほかにレストランや入国管理局に情報を置くのもよいかもしれない。」

ゴタメ委員「避難所の一時滞在施設のところをもう一度説明して欲しい。」

(事務局日下部職員が説明)

劉委員「外国人観光客向けに提言をすることだが、私は東日本大震災のときに東京都庁で外国人向けの緊急電話対応のボランティアをしたが、問い合わせはなかった。そして、東京都が用意していたのは、大使館の電話番号だけだった。たぶん、大きな災害が起きたらみんな自分の国の大使館に確認をしようと思う。それと、昨年、北海道で災害があったとき知り合いが大使館で働いていたのだが、大使館を一時的な避難場所として開放していた。」

前田副委員長「災害時の情報に関しては、外国人市民か、外国人観光客かというよりは、私は日本語がわからない人という理解だ。ただ、一時避難のあとはそれぞれに別の対応が必要ではないか。」

アリ委員「そうすると、前回の提言と同じになってしまうのではないか。」

前田副委員長「前回の提言では、外国人市民向けだったので、観光客にたいする対応は含まれていなかったと思う。その部分に関しては、前回の提言の補足のよう

なかたちで対応をするのはよいと思う。」

アリ委員「私の経験だと、災害が起きたときに重要なのは、人が集まって情報が共有できるような場だ。私は東日本大震災のとき、レストランにいた。」

崔部会長「そろそろ時間なので、外国人観光客向けに絞るかどうか決めたい。それでは、外国人観光客向けに絞らない内容にすることに賛成の人は手を挙げてください。（9人）では、外国人観光客に絞らないことにする。」

シロコラデュク委員「個人的には、今回、災害をテーマとした提言をする必要があるかどうか、疑問をもっている。ほかにもっとよいテーマがあるのではないかな。情報だと、もっとやさしい日本語が広まるとよい。」

崔部会長「私もこのあいだ『Safety tips』を知ってダウンロードしたのだが、すでにやさしい日本語に対応していた。」

ポール委員「スマートフォンを持っていない人への対応はどうするか。」

崔部会長「もう1つ、防災情報か、災害情報かについてはどうか。」

前田副委員長「いろいろなツールはあるようなので、それを知ってもらうことが重要ではないか。それこそ、QRコードをホテルに置かせてもらえたりするとよいのではないかな。」

崔部会長「そろそろ時間なので、今日のテーマについてはここまでとする。それでは、今後の審議計画について事務局から説明をお願いする。」

（事務局日下部職員が資料5に基づき説明）

崔部会長「何かあるか。」

劉委員「新百合ヶ丘の入国管理局の管轄が川崎市なのか、私も確認してみる。もし、川崎市だけなら連携してもらえるかもしれない。ほかの市も管轄に入ってくると難しいかもしれない。」

アリ委員「区役所で実際の取組の現場を見てみたい。」

ウル委員「外国人が集まる場所ということでは、私は日本にあるリベリア人のコミュニティの集まりが毎月1回ある。そこでは、いろいろな情報交換できる。」

崔部会長「資料のリクエストは何かあるか。（とくになし）では、今日の審議はここまでとする。次回は振り返りをする。」

【教育・就労部会】

ウラコワ部会長「それでは教育・就労部会を始める。まずは、前回会議のまとめを

事務局からおねがいます。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ウラコワ部会長「何か質問はあるか。(なし) それでは、今日の審議テーマは就労支援だ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料6-1に基づき説明)

ウラコワ部会長「何か質問はあるか。(なし) では、何か意見はあるか。」

児玉委員「誰への支援か、ということだが、働きたい人の支援ではどうか。働くつもりのない人の支援をする必要はないと思う。支援としては、日常会話程度の日本語が話せることも重要だが、仕事で使う専門的な言葉も勉強する必要がある。」

ウラコワ部会長「その支援はどこがするのか。何か研修を受けるとしたら、有料か無料かということもある。」

児玉委員「資料にも外国人就労・定着支援研修が載っていた。」

ウラコワ部会長「これは、国が委託事業で実施しているものだ。この研修に関しては、無料で受けられるが、もし川崎市が同じような研修をする場合には、予算が必要だし、場所も確保しなければいけなかったりする。」

バテネフ委員「資料を見て思ったのは、すでにもういろいろな支援はある。問題はそうした情報をどうやって必要な人に届けるかではないか。」

事務局高橋専門調査員「少し戻るが、先ほど誰への支援か、というところで『働きたい人』という意見があったが、資料でも説明したように在留資格のことはもう少し丁寧に考えて欲しい。」

児玉委員「就労に制限がない在留資格の人たちのことを話していたつもりだ。日本に長く住んでいる人は、日本語も話せる。」

ウラコワ部会長「日本に長く住んでいても、日本語が十分に話せない人もいる。」

ボソ委員「自分から行動しないと何も起きない。ハローワークでは、履歴書の書き方も教えてくれたりする。」

ウラコワ部会長「あとは、日本人の場合でも同じだが、セクハラやパワハラ、外国人の場合には差別や人権侵害の問題もニュースになっていたりする。」

スタント委員長「たしかに法律が守られていないこともある。技能実習生の自殺もニュースになっていた。外国人も自分の権利を守れるようにする必要があるし、相談窓口を広く知ってもらうことも重要だと思う。」

児玉委員「話が変わるが、たとえば川崎市に転入してきたときにどんな仕事をしたとか、どのくらい日本語ができるかなどを登録してもらって紹介したらどうか。」

事務局高橋専門調査員「少し逆の立場で考えてみて欲しい。就労支援というときに、みなさんの国ではそこまで手厚く支援してくれるのか。外国人に限らず、日本人に対してもそこまで支援していない。」

バテネフ委員「中小企業から、不足している人材の情報をもらって、それを発信するのはどうか。」

ウラコワ部会長「それはハローワークでやっている。」

バテネフ委員「それならハローワークの宣伝をもっと役所でしたらどうか。」

ボソ委員「もっと具体的な課題について改善方法を考えるべきではないか。」

スタントさんも言っていたが、差別の問題とかお金が払われていないとか、いろいろとある。ほかにも、医者など母国で専門的な資格を持っているが、それを日本で生かせないという問題もある。資格や技術を認めてもらうためにはどうしたらよいか。日本語はできないが、専門的な資格や技術を持っているというケースもある。」

事務局高橋専門調査員「現状では、母国でもっている資格が日本ではそのまま認められていない場合、日本で資格を取りなおしてもらう必要がある。」

ウラコワ部会長「専門的な資格を持っていても、日本語ができないというのはやはり厳しいと思う。」

ウラコワ部会長「そろそろ時間なので、就労支援についてはここまでとする。今後の審議計画について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明)

ウラコワ部会長「何か追加で必要な資料はあるか。」

アニータ委員「就労支援にかかわる調査結果はあるか。」

事務局高橋専門調査員「直接関係あるかどうかかわからないが、『外国人市民意識実態調査』のデータをいくつか用意する。」

ウラコワ部会長「4月からの外国人受け入れについての資料が欲しい。」

金委員「正直、その説明を聞いても私たちに何かできるとは思えない。」

チョ委員「興味はある。」

ウラコワ部会長「それでは、今日の部会審議はここまでとする。」

【全体会】

スタント委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告を教育・就労部会からお願いする。」

ウラコワ部会長「今日は就労支援について審議した。事務局からも説明を受けたが、就労支援について考えるときに、気をつけなければいけないのが在留資格だ。就労に制限のない在留資格もあるが、それ以外の人は在留資格に基づいて就労が認められている。そして、在留資格は国の制度なので、川崎市で変えられるものではない。また、就労支援といっても誰への支援なのか、どのような支援なのかはさまざまだ。そうした中で、たとえば希望通りの就労ができない理由として、日本語の問題が大きいのではないかという意見が出た。ほかには、人材のミスマッチということがよく言われるが、大企業は優秀な人材を確保できていて、人手が足りないのは中小企業なので、本当にミスマッチがあるのかという指摘もあった。また、4月から新たに外国人材の受け入れが始まるが、人権問題や労働環境の問題など、最近ではとくに技能実習制度の問題も指摘されたりしている。こうしたことも、引き続き審議していきたい。」

スタント委員長「何か質問や意見はあるか。」

アリ委員「自分の親が亡くなったときに、帰国しなければいけなくて会社を辞めた。そのときに、失業保険がすぐにもらえなくて困った。もう少し事情をふまえて対応して欲しかった。」

ポール委員「たとえば、残業代が出ないとかいった問題も市が改善できるのか。」

ウラコワ部会長「労働環境の問題はぜひ考えたいが、市が直接何かできるかはわからない。残業代を出させるとかを、提言にはできないと思う。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)では、続いて情報・広報部会からの報告をお願いする。」

崔部会長「今日は観光客向けの防災情報について審議した。これまで、『防災情報』という言葉で考えてきたが、事務局からの説明を聞いて『災害時の情報』の方が適切ではないかということになった。また、災害が起こった際、72時間までは緊急避難なので、外国人市民であっても外国人観光客であっても、ニーズはそれほど違わないが、72時間以後はニーズに違いが出てくると思われる。ただし、あえて外国人観光客を対象とした提言にするのか、ということでは、ひとまず観光客も含めた外国人全般を対象にするということになった。具体的な意見としては、市から送られてくるメールをやさしい日本語にして欲

しい。あとは、実際に可能かどうかわからないが、レストランやホテルなど人が集まるところに情報があるとよいということで、事前に協力を依頼しておいたらどうかといった意見も出た。次回からは、3つのテーマを振り返りながら、深めていきたい。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、今日の議事は以上だ。事務連絡をお願いします。」

【事務連絡】

- ・次回の会議日程について

スタント委員長「以上で今日の日程は終了だ。今日で1年目の会議が終わりだ。

次回は4月21日、日曜日、午後2時から、ここ国際交流センターで開催する。

これで、2018年度第4回の第2日の会議を終わりにする。みなさん1年間お疲れさまでした。来年度もよろしくお願ひします。」